（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動学習支援教室てまり			
○保護者評価実施期間	2025年　2月　1日		～	2025年　2月　28日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	46	（回答者数）	30
○従業者評価実施期間	2025年　2月　25日		～	2025年　2月　28日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　3月　18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	脳機能向上プログラムを毎日実施している。	日課プログラムとの切り替えがスムーズにできるようにし、休憩時間には、子どもたち同士でアナログ的な遊びができるよう支援している。 祝日、学校休業日にはイベントを実施し、楽しく活動できるよう計画している。 日課運動研修を毎月実施している。	保護者への周知 参観月間、体験会、交流会等の実施 職員研修の充実 休み時間に体を動かす場を設定
2	週1回運動プログラムを実施している。	日課運動研修を毎月実施している。	運動の細分化、基本の動き（36）をベースに、サーキットプログラムをさらに充実させる。
3	個別から集団へ療育を展開している。	利用児の特性を理解した療育内容を検討している。	集団療育を基本とした療育を充実させる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ人数に余裕がない。	療育スキル習得に時間がかかってしまう。 専門性のある人材確保	余裕を持ってスタッフを確保していく。 研修計画の見直し 外部研修の活用 採用条件の見直し
2	利用児のやる気・動機を引き出しきれていない。 利用児が長続きしない。 療育内容や意味・目的が浸透していない。	趣意説明の弱さ	利用児への趣意説明を工夫する。 保護者への理解を深めるために、参観月間や体験会等を実施していく。
3			